

【日本プロテオーム学会通信 No. 187】2015. 3. 5 第 12 回北里疾患プロテオーム研究会・第 65 回電気泳動学会シンポジウム 合同研究会のお知らせ

★★★ 日本プロテオーム学会 学会通信第 187 号 ★★★

2015. 3. 5

【日本プロテオーム学会通信】は、日本プロテオーム学会会員の皆様に配信しています。【アドレス変更/配信中止】【ご質問・お問合せ】【掲載希望】は、日本プロテオーム学会事務局 (info@jhupo.org) をお願いいたします。

■■■ 第 12 回北里疾患プロテオーム研究会 ■■■
■■■ 第 65 回電気泳動学会シンポジウム ■■■
■■■ 研究会のご案内 ■■■

日本プロテオーム学会員の皆様

北里大学理学部附属疾患プロテオミクスセンターの小寺先生より、第 12 回北里疾患プロテオーム研究会と第 65 回電気泳動学会シンポジウムの合同研究会のご案内が届きましたのでお知らせいたします。

第 12 回北里疾患プロテオーム研究会・第 65 回電気泳動学会シンポジウム 合同研究会のご案内

平成 27 年 3 月 18 日(水)に、第 12 回北里疾患プロテオーム研究会を開催いたします。

今年は、電気泳動学会会長・平野久先生、同副会長・大石正道先生のご提案により、第 65 回電気泳動学会シンポジウムとの合同研究会として開催させていただくこととなりました。

プログラムを以下に添付いたします。

(本メールにポスター形式のプログラムを添付いたします。下記プログラムが読みにくい場合はそちらをご覧ください。)

今年は、招待講演にて、広島大学・木下英司先生と京都大学・石濱泰先生に、それぞれ電気泳動ならびに質量分析計を用いた翻訳後修飾の解析についてご講演いただくとともに、横浜市立大学・梁明秀先生にウイルス複製阻止因子の探索と題して臨床研究への応用についてお話しいただきます。

さらに、特別講演では、15年にわたり当プロテオミクスセンターと密接な共同を進めてさせていただきました千葉大学の野村文夫先生に、ご退官にあたり「プロテオミクスからマスマスペクトロメトリー検査診断学へ」と題してご講演いただきます。

本研究会は、毎年日本プロテオーム学会のご後援のもと開催させていただいております。

年度末の大変お忙しい時期と存じますが、是非、皆様にご参加いただきたく思っております。

何卒よろしくお願い申し上げます。

北里大学理学部附属疾患プロテオミクスセンター

センター長 小寺 義男

第 12 回北里疾患プロテオーム研究会

(平成 26 年度北里大学共同研究(AKPS)振興資金支援事業)

第 65 回日本電気泳動学会シンポジウム

日 時 平成 27 年 3 月 18 日(水)13:00~18:00

場 所 北里大学相模原キャンパス L1 号館 32 番教室

参加申込 不要(参加費無料)

主 催 北里大学理学部附属疾患プロテオミクスセンター

共 催 日本電気泳動学会

後 援 日本プロテオーム学会

国際タンパク質化学構造解析・プロテオミクス学会

【プログラム】

開会の挨拶 (北里大学理学部 小寺義男) [13:00-13:20]

北里大学におけるプロテオミクス研究 [13:20-14:30]

1. 「アガロース・アクリルアミド・ハイブリッドゲルを用いた高分子プロテオーム解析」(北里大学理学部 大石正道)
2. 「尿路上皮がんにおける腫瘍マーカーの探索」(北里大学医学部 松本和将)
3. 「当研究室における疾患プロテオミクス研究の現状について」(北里大学医療衛生学部 佐藤雄一)

招待講演 [14:45-16:45] (座長 北里大学理学部 大石正道)

1. 「亜鉛の特性を利用したタンパク質翻訳後修飾の解析」(広島大学大学院医歯薬保健学研究院 木下英司)
2. 「次世代リン酸化プロテオミクスによるヒトリン酸化ストイキオメリーの大規模解析」(京都大学大学院薬学研究科 石濱 泰)
3. 「コムギ無細胞タンパク質合成系を活用したウイルス複製阻止因子の探索」(横浜市立大学大学院医学研究科 梁明秀)

特別講演 [17:00-17:50] (座長 (独)医薬基盤研究所 朝長 毅)

「疾患プロテオミクスからマスマスペクトロメリー検査診断学へ」(千葉大学大学院医学研究院 野村文夫)

閉会の挨拶 (北里大学医療衛生学部 佐藤雄一) [17:50-18:00]

お問合せ

北里大学理学部 小寺義男 (koderam@kitasato-u.ac.jp)

* アドレスをコピー&ペーストする場合は*を@に変更してください